

- 問1 1958年に約47.8万人であった札幌市の人口が、2018年には約195.2万人へと急増した背景にある、北海道特有の社会経済的な状況として最も適切なものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 札幌市に大規模な工業地帯が形成され、重化学工業に従事する労働者が全国から一斉に集まったため。 | 2. 道内の交通網が未発達であったため、物流の拠点として札幌市にのみ人口が残留せざるを得なかったため。 | 3. 道内の基幹産業であった石炭産業などの衰退により、地方から都市機能が集積する札幌市への人口移動が加速したため。 | 4. 北海道全域で稲作が拡大し、農業に従事する現役世代が札幌市周辺の広大な農地へ移住したため。 |
|---|---|---|---|
- 問2 北海道の東部に位置する太平洋沿岸の地域では、夏に「濃霧（海霧）」が発生し、日照不足などの影響を与えています。この現象が発生するメカニズムの説明として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 北西からの湿った季節風が、寒流であるリマン海流の上を通る際に冷やされるため。 | 2. 南東からの湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）の上を通る際に冷やされるため。 | 3. 南東からの湿った季節風が、暖流である対馬海流の上を通る際に温められるため。 | 4. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である黒潮（日本海流）の上を通る際に温められるため。 |
|---|--|--|---|
- 問3 農業従事者数と耕地面積の関係を示した資料において、他地域が「労働力が多く、耕地面積が狭い」傾向にあるのに対し、北海道は「労働力が少なく、耕地面積が極めて広い」という独自の特徴が見られます。このような北海道の農業の特色を端的に説明したものとして、正しいものはどれですか。 (2024年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|----------------------|--------------------|-------------------|
| 1. バイオテクノロジーを駆使した都市近郊農業 | 2. 伝統的な手作業を中心とした多角経営 | 3. 大型の機械を活用した大規模経営 | 4. 労働力集約型による小規模経営 |
|-------------------------|----------------------|--------------------|-------------------|
- 問4 北海道東部の太平洋側において、夏に発生する濃霧がもたらす低温や日照不足といった気候条件に適応するために、この地域で古くから発展してきた農業の特徴はどれですか。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|
| 1. 温暖な気候が必要な米の品種改良を進め、広大な平野で二毛作を行う。 | 2. 冷涼な気候でも育つ牧草を利用し、乳牛を育てる大規模な酪農を行う。 | 3. 山地を切り開いて段々畑を作り、水はけを良くして果樹栽培を行う。 | 4. 夏の涼しさを利用して、東京などの大消費地向けにレタスなどの高原野菜を栽培する。 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------------|--|
- 問5 北海道東部に突き出した半島に位置し、海と陸のつながりによる独特の生態系が評価され、2005年にユネスコの世界遺産（自然遺産）に登録された場所はどこですか。 (2021年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|---------|--------|
| 1. 知床 | 2. 小笠原諸島 | 3. 白神山地 | 4. 屋久島 |
|-------|----------|---------|--------|
- 問6 北海道、茨城県、新潟県、青森県などの農業統計において、農家一戸あたりの平均耕地面積を比較すると、北海道は約30ヘクタールと、他の都府県の数ヘクタール程度に比べて圧倒的に大きな数値を示しています。このような統計上の特徴を持つ北海道の農業の特色として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------|-------------------------|--------------------------------|----------------------------|
| 1. 大型機械を活用した大規模な農業が行われている | 2. 都市近郊での集約的な施設園芸が中心である | 3. 農家一戸あたりの面積が小さく、多くの労働力を必要とする | 4. 米の二毛作が盛んで、土地の利用効率が極めて高い |
|---------------------------|-------------------------|--------------------------------|----------------------------|
- 問7 北海道の石狩平野などは、かつて農耕に不向きな土地でしたが、現在では日本有数の稲作地帯となっています。このような発展を可能にした土地改良の背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 急傾斜地を階段状に削り、地滑りを防ぎながら標高の高い場所でも耕作を可能にした。 | 2. 海岸沿いの浅瀬に堤防を築いて海水を抜き、塩害に強い新たな耕地を造成した。 | 3. 火山灰が厚く堆積して水持ちが悪い台地を改良するため、大規模な用水路が建設された。 | 4. 植物の遺体が堆積した排水の悪い湿地を改良するため、排水路の整備や客土が行われた。 |
|--|---|---|---|
- 問8 北海道には「稚内（わっかない）」や「室蘭（むろらん）」など、特徴的な響きを持つ地名が多く存在します。これらの地名は、北海道やその周辺諸島に古くから住み、独自の言語や文化を築いてきた先住民の言葉に由来しています。この人々の名称として正しいものを選びなさい。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|-------|--------|
| 1. えみし | 2. アイヌ | 3. 防人 | 4. 屯田兵 |
|--------|--------|-------|--------|
- 問9 北海道のほぼ中央に位置する内陸部の気候について述べた文として、最も適切なものはどれですか。この地域では、海岸部と比較して夏と冬の気温差が大きく、冬の気温が氷点下になるという特徴が見られます。 (2025年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|-----------|------------|
| 1. 海洋性気候 | 2. 内陸性気候 | 3. 瀬戸内の気候 | 4. 南西諸島の気候 |
|----------|----------|-----------|------------|
- 問10 北海道の各地域における就業者の状況について述べた文として、統計的な背景から判断して最も適切なものはどれですか。なお、北海道では道東や道南の広い範囲において、特定の産業分類の数値が高い傾向にあります。 (2026年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大規模な工業団地の整備が進んだ結果、道内全域で製造業に従事する第二次産業の割合が第三次産業を上回っている。 | 2. 農業産出額が全国トップであるため、多くの市町村で第一次産業の就業者数が全体の過半数を占めている。 | 3. 自然景観を活かした観光業や地域のサービス業が発達しているため、多くの市町村で第三次産業の就業者が高い割合を占めている。 | 4. 札幌市などの大都市圏のみに商業が集中しているため、地方部では第二次産業の就業者が最も多い。 |
|--|---|--|--|
- 問11 日本を七つの地方に区分した統計において、北海道地方の耕地面積は約115万ヘクタールと他の地方を大きく上回っており、農家一戸あたりの耕地面積が非常に広いという特徴があります。このような土地条件を背景に発展した、北海道の農業の形態として最も適切なものはどれですか。 (2019年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------|--------------------|----------------------|---------------------------|
| 1. 平地が少ないため斜面を利用して行われる段々畑での農業 | 2. 大型機械を活用した大規模な経営 | 3. 大都市の近郊で行われる施設園芸農業 | 4. 狭い土地に多くの労働力を投入する集約的な農業 |
|-------------------------------|--------------------|----------------------|---------------------------|
- 問12 北海道で大型機械を用いた大規模な畑作や畜産業が発達した背景・理由として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2026年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 明治時代以降の開拓により、農家1戸あたりの経営面積が広く、広大な土地を活用しやすかったから。 | 2. リアス海岸の波静かな湾を活用して、浅海での養殖業と農業を兼業する農家が増えたから。 | 3. 一年中温暖で雨が多い気候を生かして、年に2回作物を取り収める栽培方法が定着したから。 | 4. 大消費地である首都圏に隣接しており、野菜などを新鮮なうちにトラックで速達できたから。 |
|---|--|---|---|